

資料 2-2

泉州二次医療圏の医療機能表

医療機能表について

○「医療機能表」とは、医療提供体制及び医療連携体制の構築に必要な各医療機関が提供している「医療機能」を二次医療圏ごとに一覧表にしたものです。

○第 7 次大阪府医療計画では、医療機能表に基づき、治療ごとの医療提供体制の状況を記載（例：主要ながんの治療を実施する病院）しています。

1.医療機能表の出典について

○各疾病・事業における医療機能表の出典は、以下のとおりです。平成 29 年 6 月時点の情報が基本（疾患や治療内容等によって異なる場合があります）となっていますので、最新の情報については出典に記載したホームページをご覧ください。

疾病・事業	出典	出典に関するホームページ
(1)がん、(2)脳卒中等の脳血管疾患、(3)急性心筋梗塞等の心血管疾患、(4)糖尿病、(7)災害医療、(8)周産期医療、(9)小児医療、(10)在宅医療	大阪府「医療機関情報システム調査」	大阪府医療機関情報システム http://www.mfis.pref.osaka.jp
(5)精神疾患	大阪府「地域保健課調べ」	—
(6)救急医療	大阪府「医療対策課調べ」	大阪府の救急医療体制 http://www.pref.osaka.lg.jp/iryoo/qa/kyukyu_taisei.html

泉州二次医療圏

都道府県連携拠点医療機関

	所在地	医療機関名	統合失調症①	統合失調症②	認知症①	認知症②	児童・思春期	うつ	アルコール	薬物	ギャンブル	てんかん	摂食	災害	成人発達	妊産婦
1	岸和田市	医療法人利田会久米田病院								○						
2		医療法人大賀医院														○
3	貝塚市	医療法人河崎会水間病院			○											
4	和泉市	医療法人和気会新生会病院							○							
5		医療法人聖和錦秀会阪和いずみ病院							○							
6	高石市	医療法人微風会浜寺病院							○							
7	熊取町	医療法人爽神堂七山病院	○	○				○								
医療機関合計			1	1	1	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	1

地域連携拠点医療機関

	所在地	医療機関名	統合失調症	認知症	児童・思春期	うつ	PTSD	アルコール	薬物	ギャンブル	てんかん	高次脳①	高次脳②	高次脳③	高次脳④	高次脳⑤	摂食	災害	成人発達	妊産婦	
1	岸和田市	医療法人利田会久米田病院	○	○					○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	
2		医療法人坂根病院	○																		
3		医療法人聖志会渡辺病院		○																	
4		医療法人大賀医院																			○
5		川田クリニック							○												
6		医療法人健翔会岸和田クリニック	○	○	12~	○													○	○	
7	貝塚市	医療法人田村会員塚中央病院	○	○							○	○	○		○	○	○		○	○	
8		木島病院	○											○							
9		医療法人永和会こころあ病院	○															○	○		
10		医療法人河崎会水間病院	○	○								○		○	○	○			○		
11		さくらクリニック				○											○				
12	泉佐野市	楓こころのホスピタル	○	○							○	○	○		○	○	○	○	○		
13		医療法人亀廣記念医学会関西サナトリウム	○																	○	
14	和泉市	医療法人貴生会和泉中央病院	○	○		○					○	○	○	○	○	○			○	○	
15		医療法人和泉会和泉丘病院	○																		
16		医療法人和気会新生会病院							○												
17		医療法人聖和錦秀会阪和いずみ病院	○	○					○												
18	医療法人貴生会いずみ中央メンタルクリニック	○	○		○							○	○		○				○		
19	高石市	医療法人微風会浜寺病院	○	○	10~	○		○			○						○	○	○		
20	泉南市	医療法人白卯会白井病院		○																	
21		医療法人白水会紀泉病院	○								○										
22	阪南市	医療法人田中医院	○													○			○		
23	熊取町	医療法人爽神堂七山病院	○	○	6~			○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		
24		いとうまもる診療所		○							○	○	○	○		○					
医療機関合計			17	13	3	5	0	5	2	0	9	5	7	5	7	10	5	8	10	8	

※児童・思春期については、対応可能な最少年齢を記載

参考1 都道府県連携拠点医療機関-指定要件

※都道府県連携拠点医療機関に望まれる機能

疾患名	都道府県連携拠点として望まれる機能
統合失調症	① クロザピンによる治療が可能 ② 修正電気けいれん療法 (mECT) が可能
認知症	① 認知症専門医を養成する研修が可能 (府全体の研修機能がある) ② 高度な診断機能 (認知症疾患医療センターで通常できる鑑別診断より高度な検査や診断が自院内で可能)
児童・思春期精神疾患 (発達障がい含む)	児童思春期の精神科入院機能
うつ	修正電気けいれん療法 (mECT) が可能
アルコール依存症	専門プログラムの普及・困難事例の入院治療が可能
薬物依存症	専門プログラムの普及・困難事例の入院治療が可能
ギャンブル依存症	専門プログラムの普及が可能
てんかん	重症例に対応 (てんかん重積発作に対応等) が可能 (呼吸管理の元での治療が可能)
摂食障がい	重篤な身体状態の悪化にも対応可能 (BMI15未満に対応可能) ・入院治療が可能
災害医療	DPATとしての役割を持ち、府と連携しての活動が可能
発達障がい (成人)	人材育成が可能 (府全体の研修機能がある)
妊産婦のメンタルヘルス	院内の精神科医と産婦人科医が連携しての支援が可能 市町村や保健所等との連携が可能

参考2 地域連携拠点医療機関-指定要件

※地域連携拠点医療機関に望まれる機能

疾患名	地域連携拠点として望まれる機能
統合失調症	相談機能があり、地域の福祉関係機関等と連携して支援ができる
認知症	認知症疾患医療センターあるいは、専門医療相談、鑑別診断、身体合併症・周辺症状の急性期対応等認知症疾患センターと同等の機能がある
児童・思春期精神疾患 (発達障がい含む)	児童思春期を専門とする医師が診察 確定診断が可能
うつ	うつ病に特化したプログラム (認知行動療法、リワークプログラム) を実施
PTSD	専門的治療 (持続エクスポージャー療法、EMDR等) が可能
アルコール依存症	専門プログラム (疾病教育・ミーティング・認知行動療法等) を実施
薬物依存症	専門プログラム (疾病教育・ミーティング・認知行動療法等) を実施
ギャンブル依存症	専門プログラム (疾病教育・ミーティング・認知行動療法等) を実施
てんかん	専門的治療が可能
高次脳機能障がい	① 国基準診断
	② 診断書作成
	③ リハビリ対応
	④ 精神症状対応可能 (入院)
	⑤ 精神症状対応可能 (通院)
摂食障がい	身体状況悪化に対応 身体科と連携しての診療可能
災害医療	府と連携して被災した精神科医療機関へ支援を行うことが可能
発達障がい (成人)	確定診断、疾病教育が可能
妊産婦のメンタルヘルス	地域の産婦人科機関と連携しての診療が可能